

平成 30 年 8 月 9 日

農業農村工学系 ICT 技術活用企業 各位

農業農村工学会創立 90 周年記念事業準備委員会委員長
久保 成隆（前学会長、東京大学名誉教授）

農業農村工学会創立 90 周年記念事業

－ 「農業農村工学技術の大 ICT 展（仮称）」参加意向の調査について（依頼）－

日頃より当学会の運営につきましては多大なるご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、当学会は来年度創立 90 周年を迎えることから、この記念事業の一環として、「農業農村工学の大 ICT 展（仮称）」を企画しております。

近年、農業・農村分野においても、ICT、IoT、AI やロボット技術等の活用は急速に進展し、スマート農業の普及・発展、生産管理の高度化、農業水利施設等の整備や維持管理の省力化・高度化等に係る ICT 技術の開発には目覚ましいものがあります。また、農林水産省においても、ICT 技術の導入・活用に係る施策が多数取り組まれています。

これらの技術は、今後の農業・農村の振興において重要になると見られており、また、その技術開発は、従来の技術分野を超えた幅広い企業や研究機関等の参画によって進んでいることも大きな特色です。

このため、来年度の学会大会講演会の開催に併せて「農業農村工学技術の大 ICT 展（仮称）」を開催し、①灌漑排水システムによる水源から圃場レベルに至る水管理の省力化・高度化、②農業水利施設や農地の整備等における土工管理、測量、工事車両管理、コンクリート施工管理、現場遠隔操作、安全管理などの情報化施工、③農業水利施設等の維持管理の省力化・高度化、④農業水利施設等に関する防災情報の関係者間の共有と利用の高度化、⑤田植・施肥や収穫等の営農作業の無人化・自動化技術等々、これらの技術開発成果を一堂に展示し、情報発信だけでなく、関係者との技術交流等の場にする事により、産学官連携の一層の促進と社会実装に向けた取り組みへと広げていきたいと考えております。

本講演会には、全国から 1 千名を越す大学教員、研究者、技術者、学生、企業関係者等が参加すると想定され、新たな連携やリクルート活動の一環にもなると考えます。現段階での概要は別添企画（案）のとおりですが、今回の意向調査を踏まえてより良い展示会にしたいと思います。是非内容をご検討いただき、**期限（10月12日（金））までに別添「参加意向調査票」をご提出いただきますようお願い申し上げます。**